



目次

- 市民参加の実施状況(2面)
- みんなの健康(3面)
- 平成30年度下半期の財政状況(4面)
- 後期高齢者医療制度(5面)
- ざまインフォメーション(6・7面)
- 台風などの風水害に備えて(8面)



東京コミュニティセンター
横の赤いヒマワリ

※写真は昨年のものです。

考えよう未来の公共施設

市では、老朽化している施設の更新や統廃合、複合化などを図りながら、良質な資産を次世代へ引き継ぐために「公共施設再整備計画」の策定に取り組んでいます。

担当 市政戦略課 ☎046(252)7961 ㊚046(255)5090



公共施設整備の最近の取り組み

【コモンズざま】マンションと併設した公共空間に民間保育園、子育て支援センターを開設し、12月には市民交流プラザ「プラっとざま」がオープンします(写真①④⑥)。

【市上下水道局庁舎】施設の設計・施工、維持管理、運営を民間事業者に一括発注し、施工期間の短縮、付帯業務の軽減を図りました(写真②)。

【市消防庁舎および総合防災備蓄倉庫】総合病院の誘致や消防庁舎の移転を行い、現在は公園の整備に取り組んでいます。その他、旧消防庁舎を総合防災備蓄倉庫に改装するなど、施設需要と財政負担の軽減を重視して、有効活用を行っています(写真③⑤)。

～みんなで考える座間市のミライ～ 公共施設再整備計画市民シンポジウム

市では、将来へ向けた公共施設の在り方についてのシンポジウムを開催します。シンポジウムでは、専門家による講演や、市長も参加するパネルディスカッションを行います。気軽にご参加ください。

- とき 8月18日(日)午後2時～4時(午後1時30分受付開始)
- ところ 市役所1階市民ホール(特設会場)
- 講師 千葉工業大学准教授 倉斗綾子さん
- 対象 どなたでも
- 定員 120人(申込順)
- 参加費 無料
- 申込方法 8月16日(金)までに電話、ファクスまたは直接担当へ



倉斗綾子さん

学校施設、公共空間の専門家として、国の専門委員などを数多く歴任

公共施設の 現在と未来

市では、高度経済成長期の人口増加に対応し、多くの公共施設を建造しました。現在、施設の多くは老朽化し、大規模改修や建て替え時期を迎えています。

市の所有する公共施設は、少子高齢化に伴う施設需要の変化や、税収の減少に対応した施設整備が必要です。そこで、未来の施設需要を想定した民間活力の導入や、業務の効率化を図りながら、持続可能な公共施設の在り方を定める必要があります。

希望者への「広報ざま」の戸別配布を実施中

※新聞を購読されている方には、新聞に折り込まれます。

○新規のお申し込み 申込専用電話 ☎046(252)8684 (市政戦略課)

○届かない場合 (株)神奈川新聞総合サービス ㊚0120(111)429 (無料)